

平成27年度
事業計画書

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

2015. 3. 10

公益財団法人日本ユースリーダー協会

I. 3カ年計画(H24～26年度)を終えて

H24年(2012年)4月1日、公益財団法人として生まれ変わった当協会は、H24年度から26年度までの3カ年計画を策定して事業活動を開始した。

3カ年計画(2012～2014)

- ★ 基本方針 ……◎ **アジアをフィールドに次代のユースリーダーを育成する**
これまでのアジア地域での活動経験とネットワークを活かして、若者自らが、次代のリーダーとして育ち、活躍できる機会を、アジアを舞台に提供(サポート)していく。

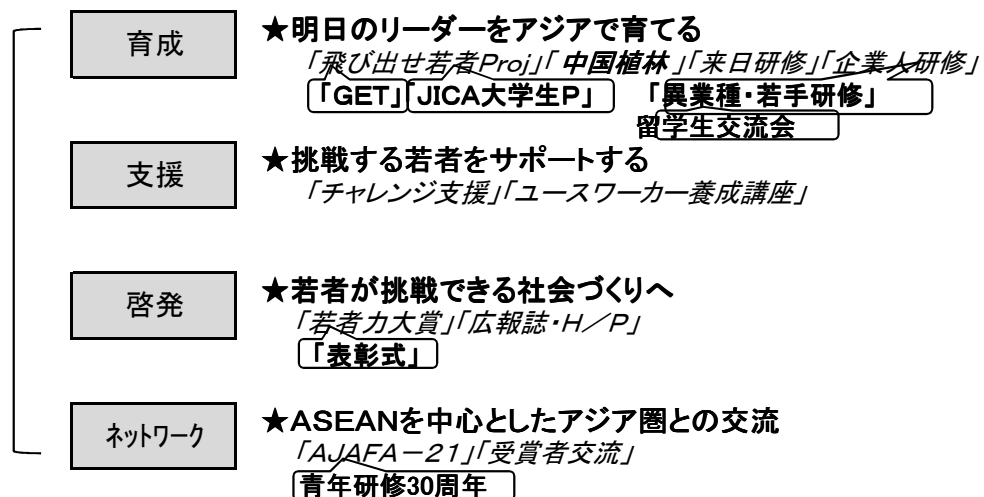
★ 合言葉は

飛び出せ若者！！

- ★ 3年後の目標…(1) 100名の若者が、アジアでのリーダー体験を経て、新たな行動を起こす。

(2) 500名の若者応援サポーターの輪を広げる。

- ★ 事業計画 ……◎ 事業はすべて公益事業とし、4つの事業で構成する。



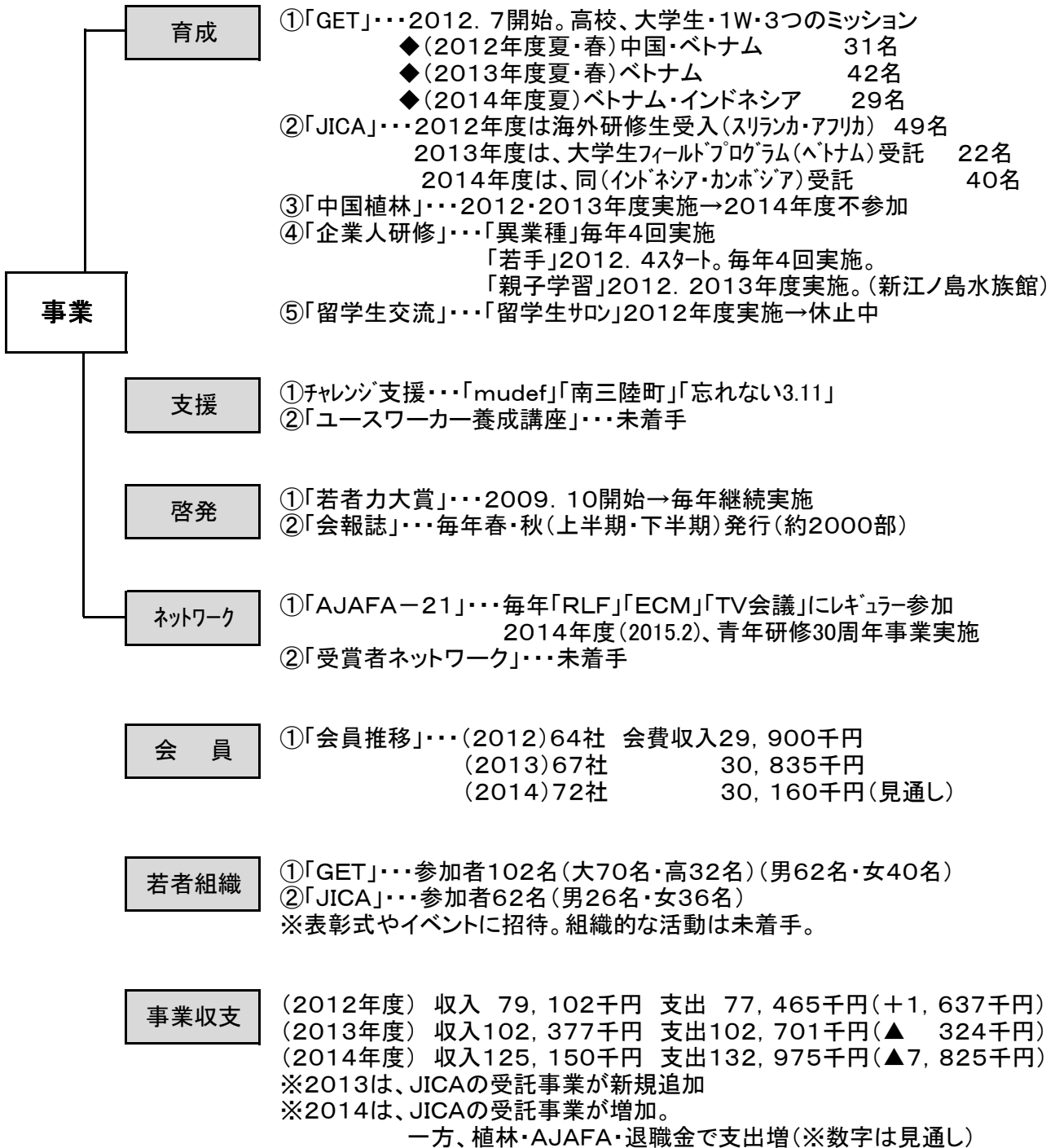
- ★ 組織体制 ……◎ 委員会運営＝担当理事制による委員会執行体制

- ★ 財政基盤 ……◎ 法人会員・個人会員の拡大 → 財団活動の「見える化」で理解促進

◎ 助成金・補助金事業の開拓

I. 3カ年計画(H24～26年度)を終えて

3カ年(2012～2014)の結果



Ⅱ. 平成27年度 事業計画・基本方針

- ★ **基本方針** ……① 3カ年計画(～2014)の総仕上げ・新3カ年計画(2016～)の準備。
 → <育成><支援><啓発><ネットワーク>各事業の仕切り直し
- ② H27年度の最重点は、「ASEAN事業」の将来構築に挑戦する。
 → <AJAFA-21>ネットワークの再活性化→フジビリティ調査
 <GET>のニューモデルの構築…AJAFAとの連動
 <駐在員体制>の検討…ASEAN各国への駐在員配置
 <JICA受託>の継続挑戦…現地体制の強化・ノウハウ蓄積
 <資金調達>の工夫…公的資金・民間資金・教育機関
- ③ 「研修事業」の継続実施。
 → 異業種交流研修会・若手研修会・親子体験学習の継続開催。
 企画の再検討と、会員会社への更なる周知徹底を図る。
- ④ 「若者力大賞事業」の継続実施。
 → 第7回目の実施に向けて、推薦・選考・表彰・広報の体制を整える。
- ⑤ 若者ネットワークづくり…滞日留学生との相互交流。
 → GET参加者の組織化(卒業後もトレース)→指導する側へ滞日留学生との交流の場づくり
- ⑥ 「中国植林」は次の展開を視野に入れた調査・折衝を行う。
 → 緑化基金とのコミュニケーション・中国との研修事業の可能性検討
- ⑦ 財団運営は、全般のチェック・決定は「運営幹事会」で遂行。
 → 毎月定例開催・必要事項は運営幹事会で審議決定。議事録保存。
 → 主要事業は、実行委員会を設置する。
- ⑧ 財源は、会員の維持(拡大)および助成金の獲得に取り組む。
 → 「GET」(外務省・文科省) 「受託事業」(JICA・文科省)
 → 「AJAFA-21」(外務省・JICA) 「留学生」(文科省)

★ 実行委員会 ……<ASEAN事業> <研修事業> <大賞事業> の3委員会

★ 事業規模 ……

	H26(見通し)	H27(予想)
法人会員	72社	75社
個人会員	30名	50名
収入	125,150千円	79,382千円
支出	132,975千円	79,650千円
収支合計	▲7,825千円	▲268千円

※2015年度は中国植林事業不参加のため事業規模が減少。
 (前年度実績:54,800千円)

Ⅲ. 平成27年度 事業計画

※事業別予算は収支差額(支出額)で計上

1. ユースリーダー育成事業

◎予算:6,870千円(H26見通し5,775千円)

(1) ASEAN事業

◆予算:6,400千円(H26見通し:5,427千円)

① 「AJAFA-21」(ASEAN諸国との交流促進) ◇予算:2,200千円(H26見通し:1,800千円)

日本で研修を受けたASEAN諸国からの研修生の同窓会組織である「AJAFA-21」との連携を進める。「リーダーズ・フォーラム(RLF)」や、「代表者会議(ECM)」、そして年4回の「TV会議」に継続参加し、交流を深めると同時に、ネットワークの更なる強化に取り組む。

- (1) 交流活動(RLF/ECM/TVC)・・・参加範囲の拡大(RLF)
- (2) 組織改革への参画・・・・・・・・事務局機能の検討等
- (3) 共同事業(活動)の可能性研究・・・フィジビリティ・スタディの実施
- (4) 活動基盤(資金)の再構築・・・・・・・・外務省(&JICA)への折衝

② 「グローバル・エデュケーション・ツアー(GET)」(短期海外研修)

◇予算:7,600千円(収入10,400・支出18,000)(H26見通し:5,870千円)

当協会の中核事業として、日本の高校生・大学生を対象にした海外体験型研修事業を継続して実施。

今年度は「AJAFA-21」と連携して、多国間参加型研修の企画検討、現地駐在員体制の整備検討など、新たな体制強化に取り組む。

- (1) 研修実施・・・・夏(8月)・春(3月) 各2コース×20名(80名)
- (2) 新プラン検討・・・3～4か国共同参加型研修の企画(→H28年度)
- (3) 現地駐在員体制・・・派遣先における現地スタッフの固定化
- (4) プログラムの刷新・・・参加学校の拡大・多国間参加への対応
- (5) 収支計画・・・・・・・・自己負担と支援のバランス検討

③ 「JICA受託プログラム」(大学生フィールドスタディプログラム)

◇予算:▲4,000千円(収入35,000・支出31,000)(H26見通し:▲2,524千円)

H25年度よりスタートしたJICAによる研修事業を、継続して受託する。

(※公開入札方式によるコンペティション)

過去2年の反省を活かして、安全管理面・コスト面・持続性などの点から、現地での受け入れ体制の強化に努める。(AJAFA-21との連携)

- (1) 企画提案・・・・・・・・今年度もコンペに参加し獲得を目指す。
- (2) 現地体制の強化・・・上記の他事業とも共通

④ 「学生組織化」(参加学生・教師のネットワーク構築→留学生交流)

◇予算:600千円(H26見通し:281千円)

各事業によって集まった学生層のネットワークを構築し、社会人以降も関係値を継続して、協会活動の活性化(留学生交流等)に活かす。

⑤ 「調査研究」(ASEANと日本の若者定点観測等→調査受託)

◇予算:0千円(①に含む)(H26見通し:0千円)

AJAFA-21のネットワークをフル活用して、オリジナル視点での域内研究活動に取り組む。

1. ユースリーダー育成事業

(2) 研修事業

◆予算:470千円(H26見通し:348千円)

① 「異業種交流研修会」

◇予算:200千円(収入300・支出500)(H26見通し:168千円)

当協会の法人会員をはじめ、企業の中堅幹部社員を対象として、
毎回、斯界を代表する講師を迎えて開催する研修会。
27年度も年間3回(6・10・2月)の開催を実施。

② 「若手研修会」

◇予算:220千円(収入180・支出400)(H26見通し:180千円)

「異業種交流研修会」の弟版。企業の20代～30代の若手社員を対象に、
異業種の集まりという利点を生かして、相互の会社見学や懇親を通して、
見て、学ぶ研修会。
27年度も年間3回(4・8・12月)の開催を実施。

③ 「親子体験学習」

◇予算:50千円(収入0・支出50)(H26見通し:0千円)

小中学生を対象にした親子で学ぶ体験学習。
主会場は新江の島水族館で、海の生き物たちとのふれあいや、水族館内の
バックヤード見学などを、親子(家族)が一緒になって体験する催し。
27年度も水族館や、宇宙博物館などの体験学習を計画。

2. ユースリーダー支援事業

◎予算:300千円(H26見通し:0千円)

(1) アジアユースチャレンジ支援

◆予算:100千円(H26見通し:0千円)

① 「アジアユースチャレンジ支援ファンド」の設立検討

日本及びアジア圏において社会的活動に取り組む若者への支援を、
幅広く社会に呼びかける仕組みづくりを検討する。

(2) 友好団体支援活動

◆予算:200千円(H26見通し:0千円)

① 「友好団体への支援活動」

友好団体の社会啓発活動に、後援・協賛を行う。

3. 社会啓発活動

◎予算:3,300千円(H26見通し:3,300千円)

(1) 大賞事業

◆予算:1,800千円(収入700・支出2,500)(H26見通し:1,870千円)

① 「第7回若者力大賞」の選考および表彰

27年度も「若者力大賞」の選考と表彰を実施する。
これまで、若者が挑戦できる社会をつくるという当協会の活動理念に添って、社会のために人知れず努力している若者たちの顕彰を通して、まわりの大人たちに、若い人たちへの活動支援を呼びかけてきたが、27年度は学生層への参加にも力を入れて取り組む。
また、受賞者のフォローや、授賞対象を海外にも広げるなど、初期の目的をより一層高めていくための新規企画を検討する。

(2) 広報活動

◆予算:1,500千円(H26見通し:1,430千円)

① 「広報誌:YOUTH LEADER」の発行

◇予算:1,300千円(H26見通し:1,300千円)

毎年2回(5月・11月)発行、上半期及び下半期の活動内容を報告。
27年度も2回発行。会員のみならず関係先や学生層にも配布を拡げていく。

② 「ホームページ」の随時コンテンツ更新

◇予算:200千円(H26見通し:130千円)

協会の情報公開と、広報誌と連動して活動ニュースを随時配信。
また各種イベントへの幅広い公募活動にも積極的に活用を図る。

4. ネットワーク事業

◎予算:100千円(H26見通し:0千円)

(1) ASEAN諸国との交流活動

◆予算:0千円

① 「AJAFA-21」とのネットワークの活用

※ユースリーダー育成事業「ASEAN事業」を参照。

(2) 近隣諸国(中国・韓国)との交流活動

◆予算:100千円(H26年度:0千円)

① 「中国・中華全国青年連合会」との交流検討。

日中緑化交流基金との情報収集

■ 実行委員会 ■

委員会名	内容	担当
<ASEAN事業>	①「AJAFA-21」との交流・連携企画	
委員長	②「GET」の企画・実施	
阪本理事	③「JICA研修」提案・受託	
里吉理事		
<研修事業>	①異業種交流研修会	
委員長	②若手研修会	
小笠原理事	③親子体験学習	
<若者力大賞>	①「第7回若者力大賞」選考・表彰	
委員長	②広報・集客戦略	
野村理事	③収支改善検討	

5. 組織運営全般

◎予算: ▲10,302千円(H26見通し: ▲4,400千円)

- ◆内訳
- ◇収入: 32,802千円(会費・31,800)(寄附金・1,000)
 - ◇支出: 22,500千円(人件費12,000・事務所費4,100・旅費交通費1,400・通信費1,800・ほか)

(1) **会議**

- ①「評議員会(5月)」「理事会(5月・11月・3月)」「運営幹事会(毎月)」開催

(2) **会員**

- ①「会員(法人・個人)維持」……定期的コミュニケーション・研修への勧誘対策
 ②「会長サロン」継続開催……法人会員代表者の理解促進・協力依頼

(3) **事務運営**

- ①「事務局(3名)」+「業務委託者(数名)」……現状維持の方向
 ② H28年度体制の準備

◆H27年度 総事業予算 (千円)			
	(収入)	(支出)	(差額)
◆事業関連(1-4)	46,580	57,150	▲ 10,570
◆会費・運営費(5)	32,802	22,500	10,302
合計	79,382	79,650	▲ 268
◇H27年度	合計	▲ 268千円	